

2025年度 第2四半期(中間期) 決算説明会資料

2025年11月14日

株式会社 **きんでん**

東証プライム : 1944

目次

1. 決算概要と通期の見通し

(1) 決算概要	…	2
(2) 通期の見通し	…	5

2. 業績の状況

(1) 予想との比較	【個別】	…	7
(2) 前年同期比較	【個別】	…	8
(3) 工事種別の状況(受注)	【個別】	…	9
(4) 工事種別の状況(完成)	【個別】	…	10
(5) 完成工事高 受注時期別 (配電工事を除く)	【個別】	…	11
(6) 工事種別手持工事高の状況	【個別】	…	12
(7) 販売費及び一般管理費の状況	【個別】	…	13
(8) 予想との比較	【連結】	…	14
(9) 前年同期比較	【連結】	…	15

(10) 完成工事高の増減	【連結】	…	16
---------------	------	---	----

(11) 海外(地域別) 受注・完成工事高の状況 【きんでん+海外子会社】	…	17
--	---	----

(12) 営業利益の増減要因	【連結】	…	18
----------------	------	---	----

(13) 貸借対照表の状況	【連結】	…	19
---------------	------	---	----

(14) キャッシュ・フローの状況	【連結】	…	20
-------------------	------	---	----

3. 業績予想

(1) 通期予想	【個別】	…	22
----------	------	---	----

(2) 通期予想	【連結】	…	23
----------	------	---	----

4. 株主還元

(1) 配当について	…	25
------------	---	----

(2) 自己株式の取得について	…	26
-----------------	---	----

5. ROE

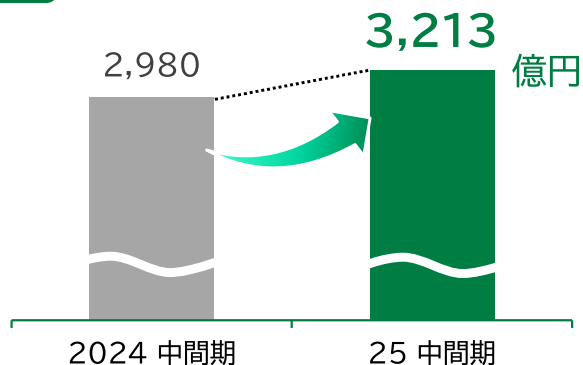
ROEについて	…	28
---------	---	----

1. 決算概要と通期の見通し

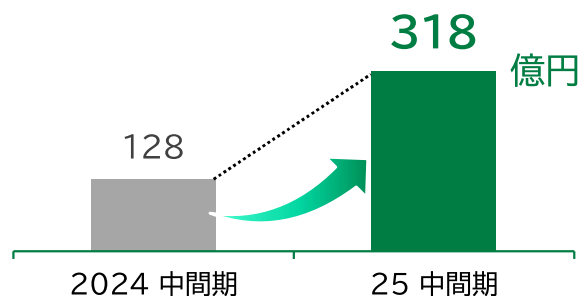
(1)決算概要 ①

連結

完成工事高

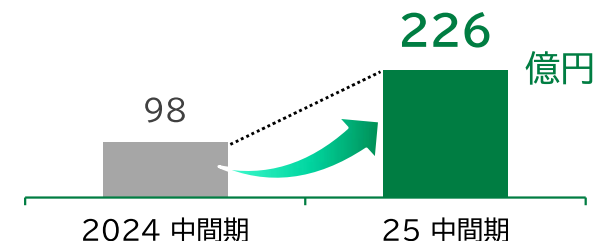


営業利益



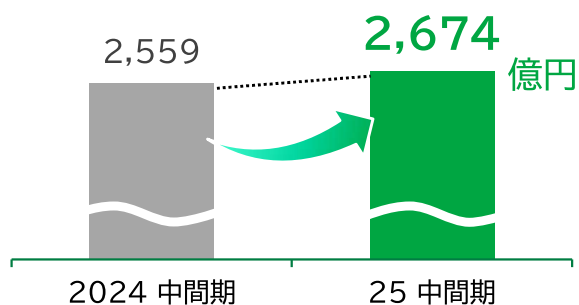
親会社株主に帰属する

中間純利益

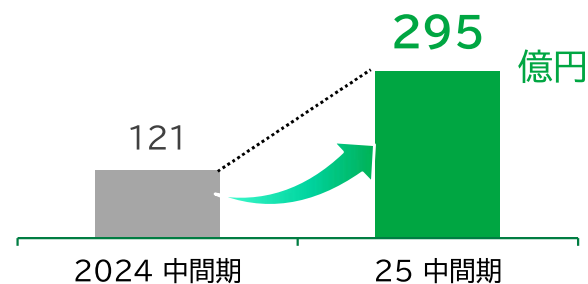


個別

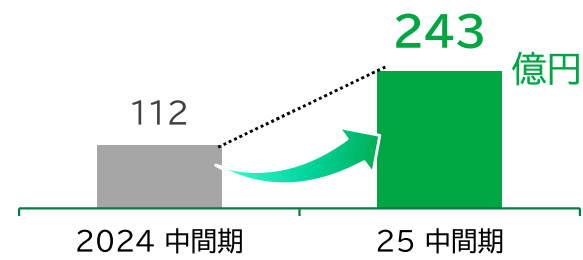
完成工事高



営業利益



中間純利益

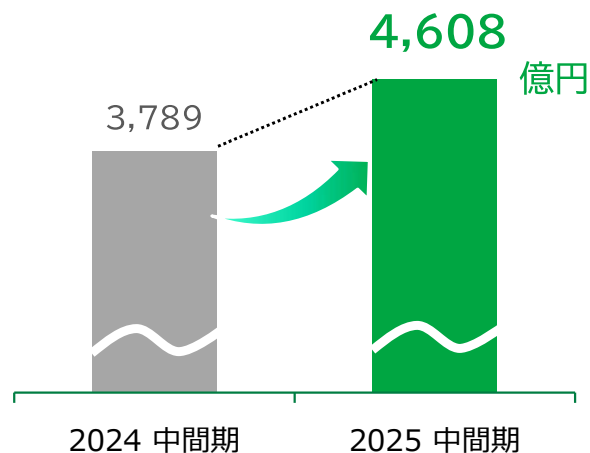


- 連結・個別共に、完成工事高および全ての利益において、前年同期比で増収・増益となった
- 中間期として創業以来の最高値となった

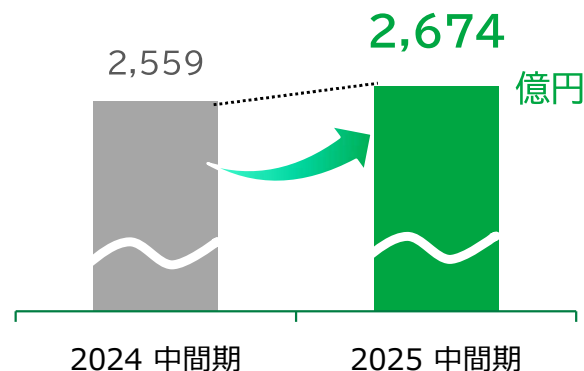
(1)決算概要 ②

個別（対前年同期）

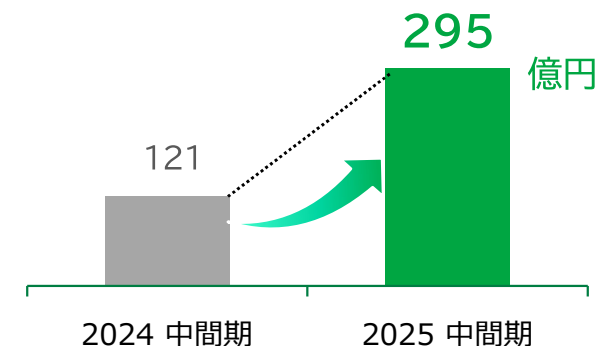
受注工事高



完成工事高



営業利益



【受注工事高】

- 引き続き旺盛な建設需要に支えられ、前期実績を上回る堅調なペースで推移している

【完成工事高】

- 期首手持工事高は前期を上回る状況でスタート、当期の受注も堅調に推移し、増収となった

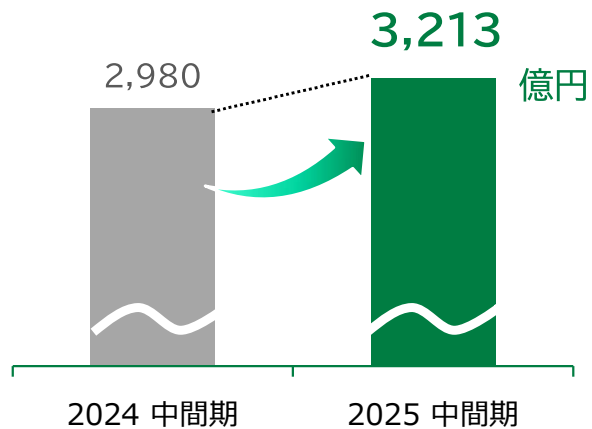
【営業利益】

- 一般関連における建設コストの価格転嫁が広がり、『担い手三法』をはじめ、業界全体で『適正工期・適正金額確保』に向けた動きが進む中、手持工事の採算性の向上が進んでいる
- 前期と比べ、期首手持工事の利益率および工事完了時の精算利益が上昇し、増益となった

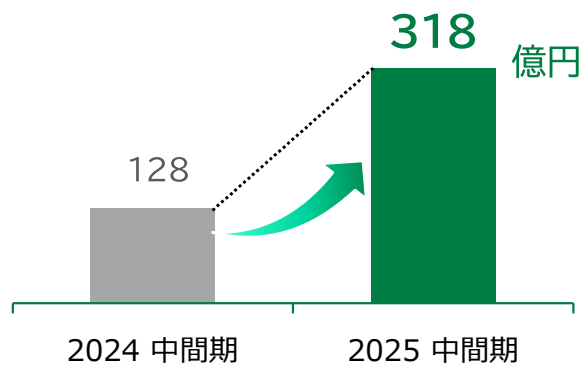
(1)決算概要 ③

連結（対前年同期）

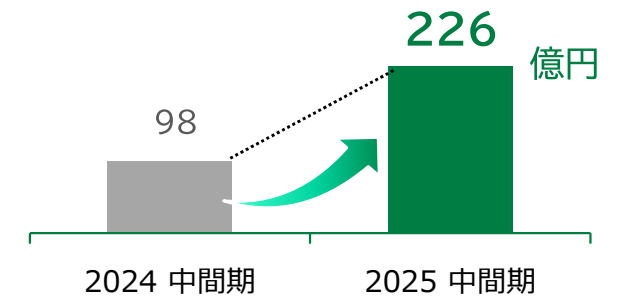
完成工事高



営業利益



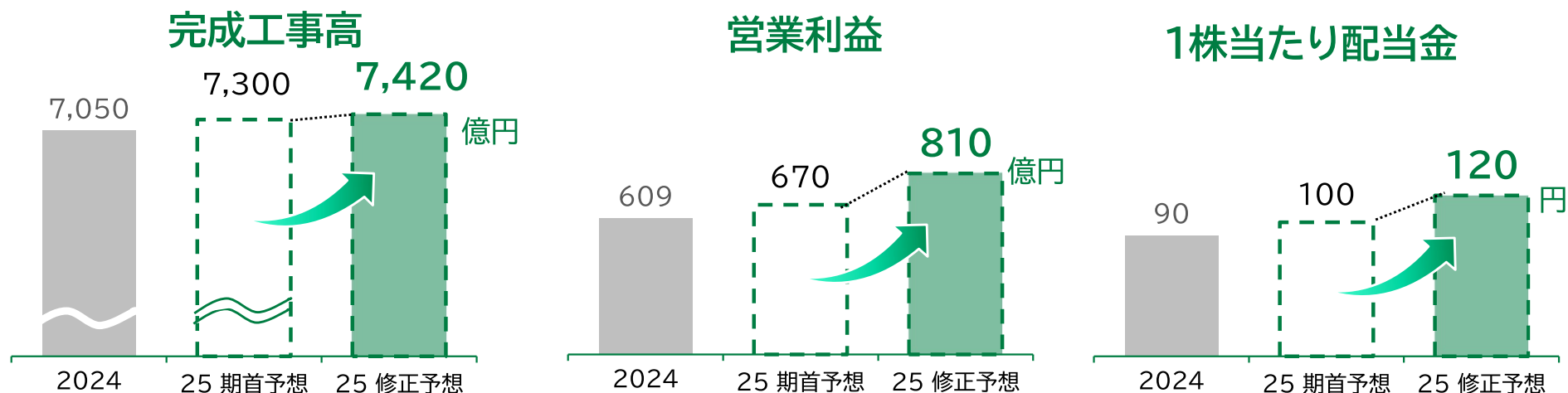
親会社株主に帰属する 中間純利益



- 今期から株式会社北弘電社を新たにグループに迎え入れた
- 子会社全体として堅調に推移しており、連結業績は前期比で増収・増益となった

(2)通期の見通し

通期予想（連結）



- 上期業績、また下期における手持工事の堅調な利益水準、良好な受注環境等を踏まえ、通期連結業績予想を完成工事高を 7,420 億円に、営業利益を 810 億円に上方修正
- 配当金については、安定的・継続的な配当の基本方針に加え、資本政策における株主還元強化の観点から、期首の通期配当予想の1株当たり100円を20円増配し、120円へ

2. 業績の状況

(1) 予想との比較【個別】

完成工事高、各利益共に予想を上回った

◆ 完成工事高

電力関連、一般関連とも、ほぼ計画通りに進捗した

◆ 各利益

- ・一般関連で、業界全体での資材費、労務費高騰の価格転嫁の広がりが、期首想定より一層進んだ
- ・加えて原価低減、生産性向上など利益向上の努力を重ねた結果、各利益が予想を上回った

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完 成 工 事 高	265,000	267,440	2,440	0.9%
営 業 利 益	23,000	29,550	6,550	28.5%
営業利益率	8.7%	11.0%	2.3	—
経 常 利 益	26,500	33,470	6,970	26.3%
中 間 純 利 益	20,000	24,326	4,326	21.6%
1株当たり中間純利益	100.95 円	122.75 円	21.80 円	

(2) 前年同期比較【個別】

◆ 完成工事高

一般関連で豊富な期首手持工事高が順調に進捗し、当期の受注も堅調に推移したことなどにより増加

◆ 各利益

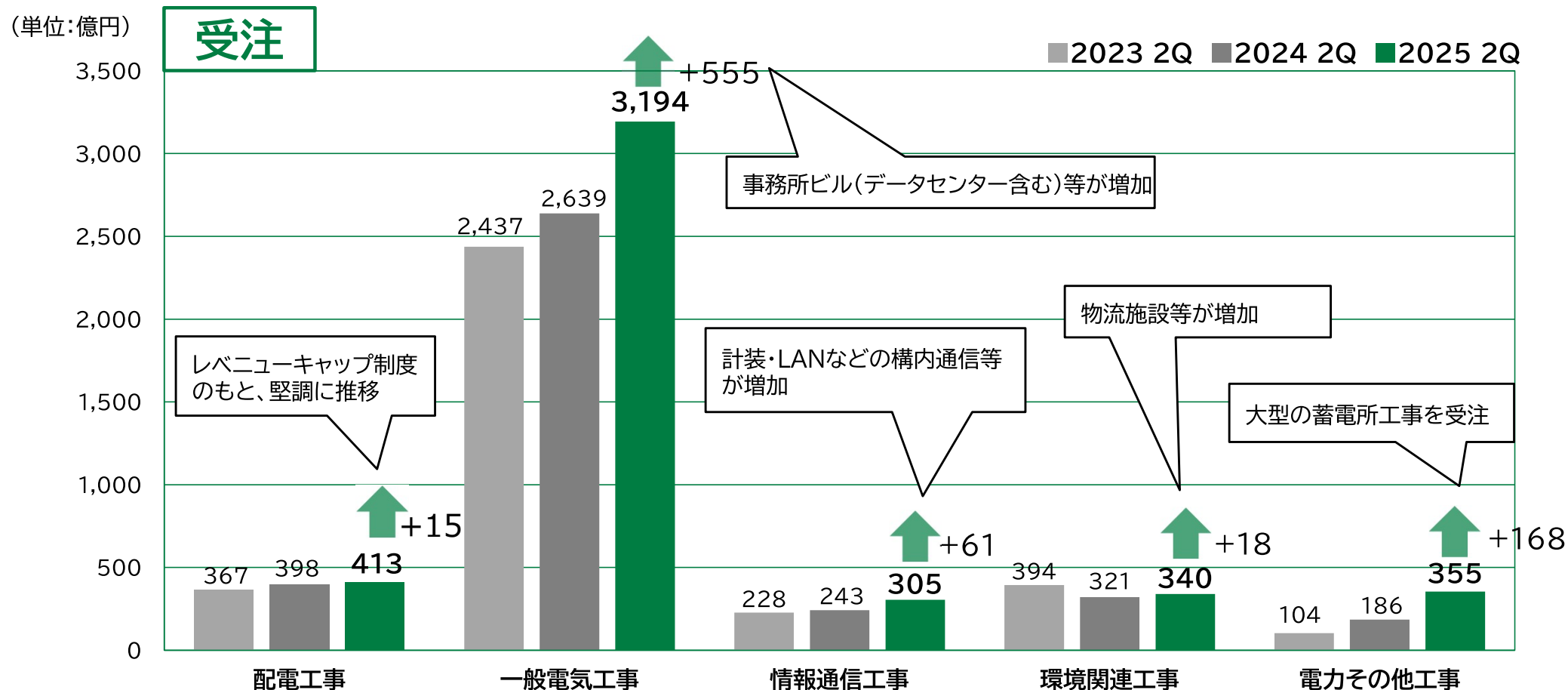
- ・完成工事高が増加したことに加え、業界全体での資材費、労務費高騰の価格転嫁の動きが前年より一層進んだ
- ・加えて、原価低減、生産性向上など利益向上への取り組みを重ねた結果、各利益は増加

(単位:百万円)

	2024_2Q	2025_2Q	増減	増減率
受 注 工 事 高	378,900	460,889	81,988	21.6%
完 成 工 事 高	255,908	267,440	11,532	4.5%
完 成 工 事 総 利 益	40,225	61,243	21,018	52.3%
完成工事総利益率	15.7%	22.9%	7.2	—
販売費及び一般管理費	28,053	31,693	3,639	13.0%
営 業 利 益	12,171	29,550	17,378	142.8%
営業利益率	4.8%	11.0%	6.2	—
経 常 利 益	15,302	33,470	18,167	118.7%
中 間 純 利 益	11,234	24,326	13,091	116.5%
1株当たり中間純利益	56.00 円	122.75 円	66.75 円	

(3) 工事種別の状況(受注)【個別】

- ◆ 全ての工事種別において増加、特に一般電気工事、電力その他工事が増加
- ◆ 一般関連で、旺盛な建設需要に支えられ、受注工事高は順調に推移し、前年同期を上回るペース

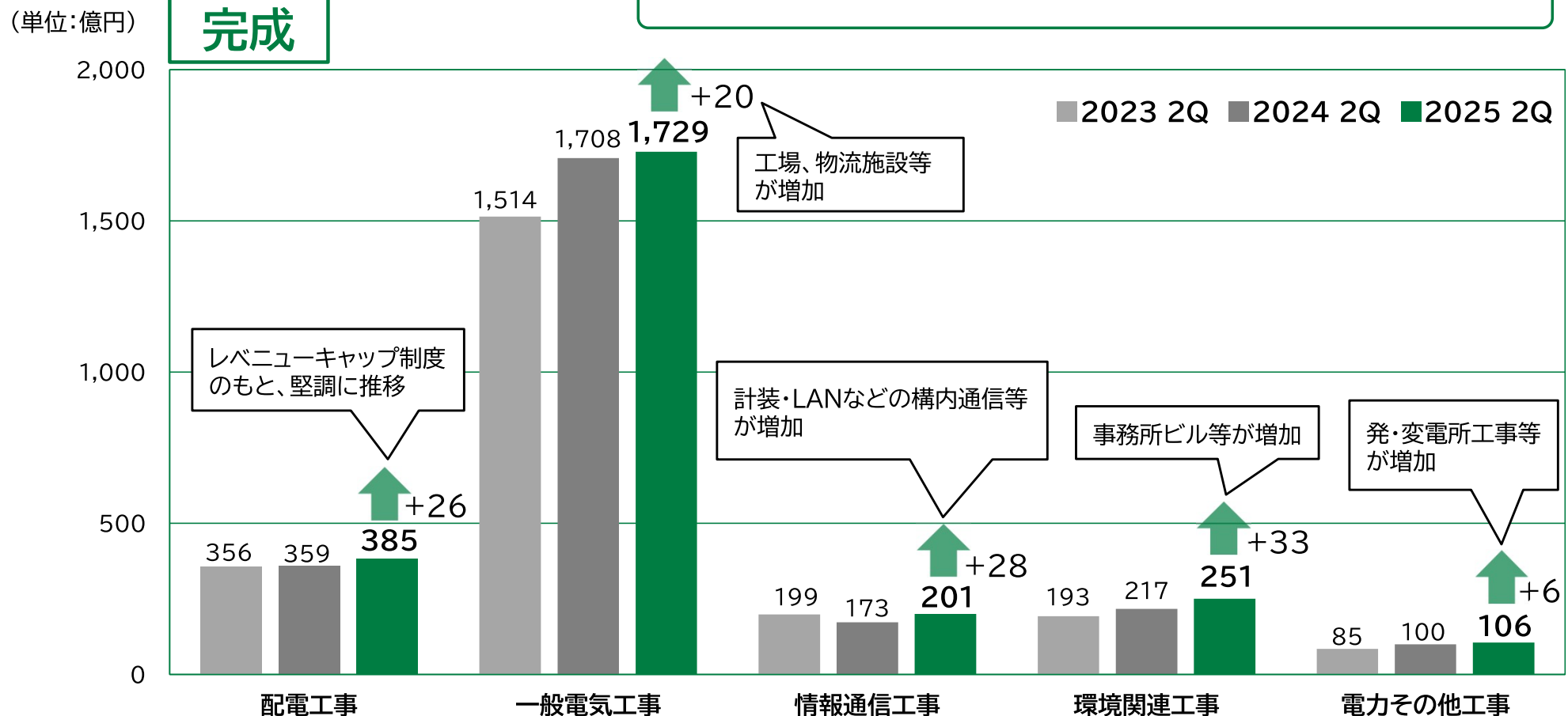


(4) 工事種別の状況(完成)【個別】

◆ 全ての工事種別において増加

◆ 完成工事総利益率の順位(工事種別)

① 一般電気 > ② 環境関連 > ③ 情報通信 > ④ 配電 > ⑤ 電力その他

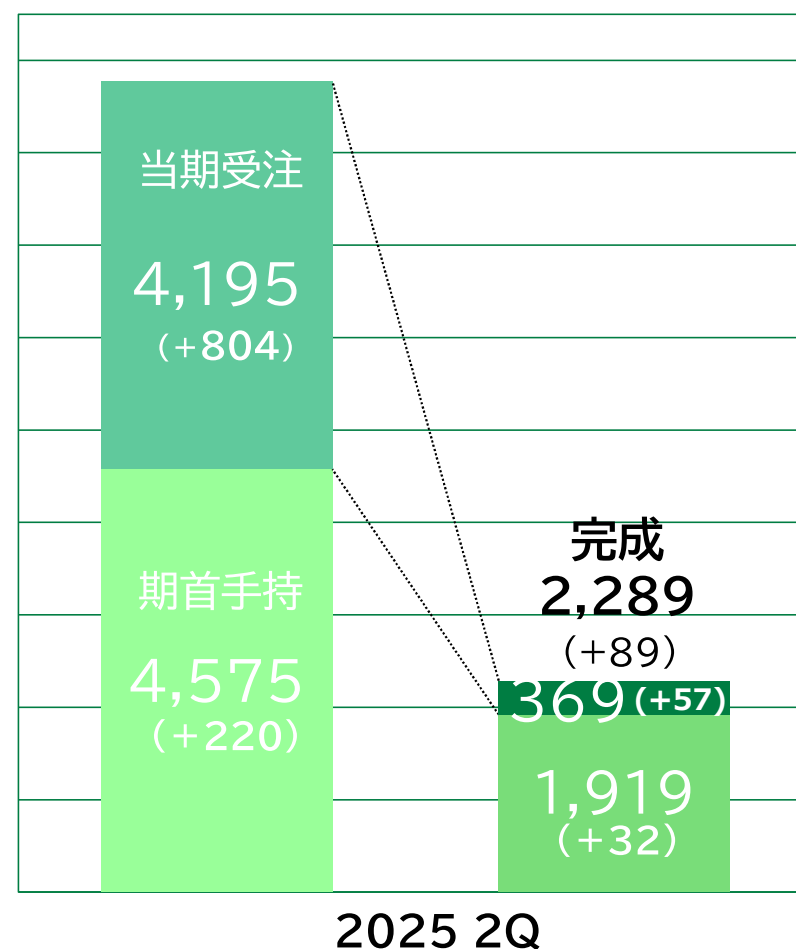
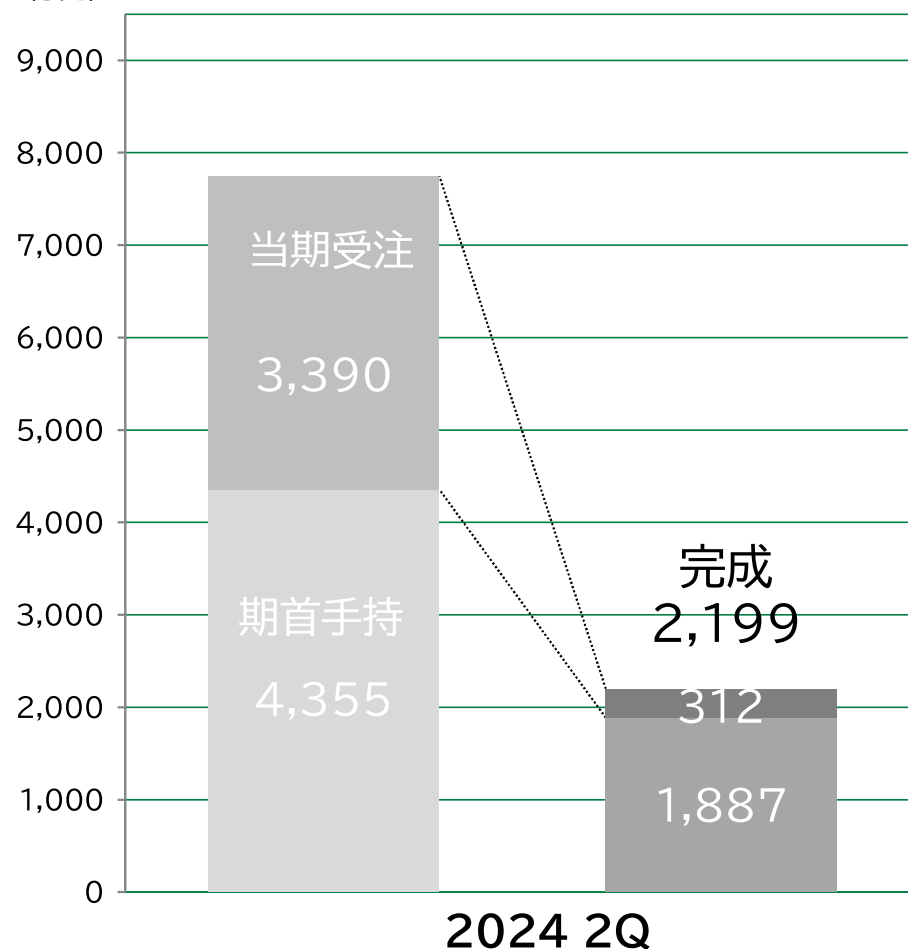


(5) 完成工事高 受注時期別(配電工事を除く)【個別】

期首手持工事からの完成、当期受注からの完成とも増加

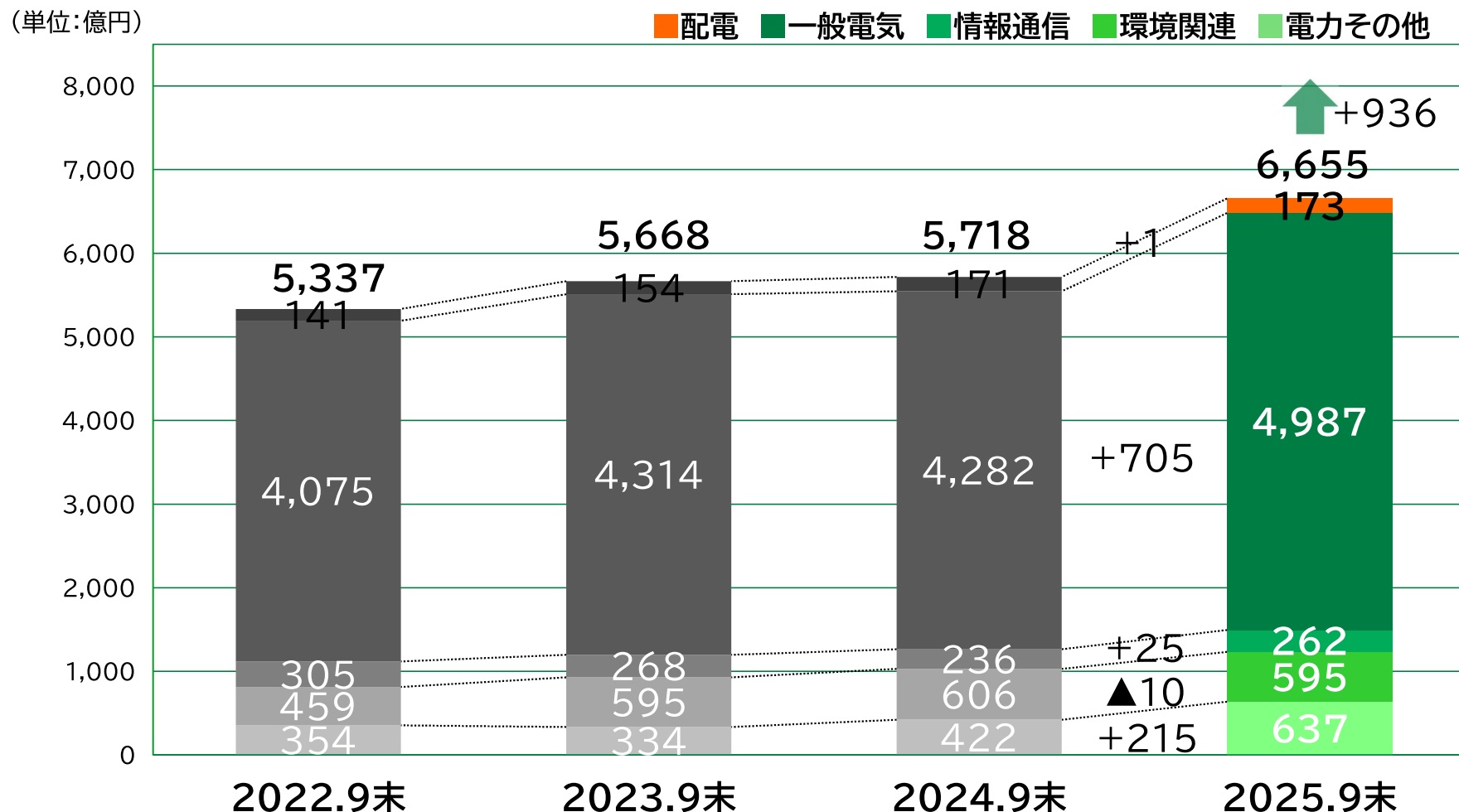
- ◆ 期首手持からの完成工事高は、32億円増加 (1,887 → 1,919億円)
- ◆ 当期受注からの完成工事高は、57億円増加 (312 → 369億円)

(単位:億円)



(6) 工事種別手持工事高の状況【個別】

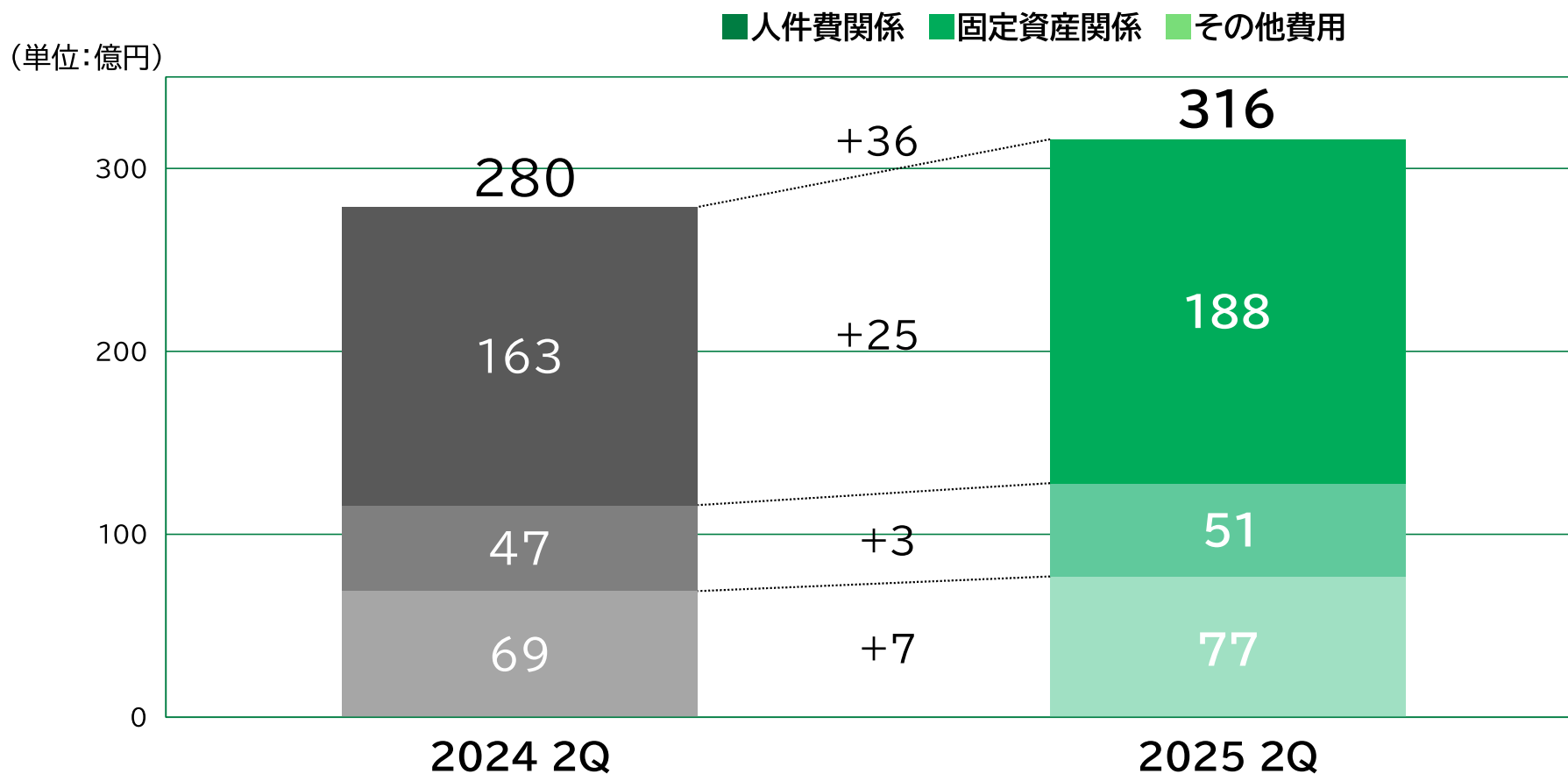
- ◆ 手持工事高は、前年同期末より936億円増加、特に一般電気工事、電力その他工事が増加
- ◆ 創業以来の最高値



(7) 販売費及び一般管理費の状況【個別】

◆ 前年同期より36億円増加

- ・人件費関係は、ベースアップ等により増加
- ・その他費用は、主にDX関連の情報システム関連費用が増加



(8) 予想との比較【連結】

◆ 完成工事高

きんでん個別と同様に、電力関連子会社、一般関連子会社とも期首予想を上回った

◆ 各利益

きんでん個別に加え、子会社も完成工事高の増加等により期首予想を上回った

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完 成 工 事 高	310,000	321,378	11,378	3.7%
営 業 利 益	23,000	31,887	8,887	38.6%
営業利益率	7.4%	9.9%	2.5	—
経 常 利 益	24,000	34,073	10,073	42.0%
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	17,000	22,603	5,603	33.0%
1株当たり中間純利益	85.81 円	114.06 円	28.25 円	

(9) 前年同期比較【連結】

◆ 完成工事高、各利益共に増加

- ・今期から(株)北弘電社をグループに迎え入れたことが寄与
- ・その他の国内子会社、海外子会社とも、概ね堅調な推移

(単位:百万円)

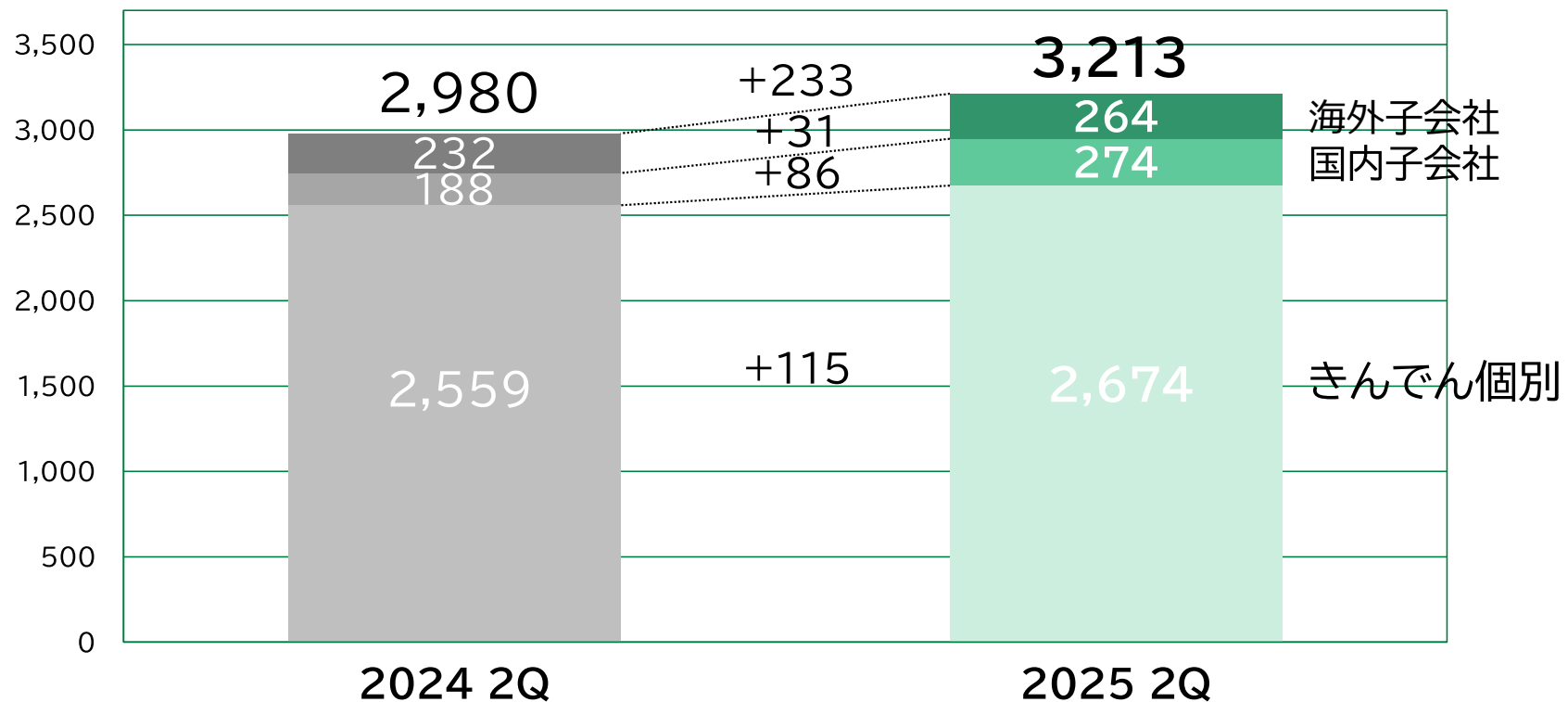
	2024_2Q	2025_2Q	増減	増減率
完 成 工 事 高	298,040	321,378	23,338	7.8%
完 成 工 事 総 利 益	46,435	70,964	24,528	52.8%
完成工事総利益率	15.6%	22.1%	6.5	－
販売費及び一般管理費	33,559	39,076	5,517	16.4%
営 業 利 益	12,876	31,887	19,011	147.6%
営業利益率	4.3%	9.9%	5.6	－
経 常 利 益	14,316	34,073	19,756	138.0%
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	9,815	22,603	12,788	130.3%
1株当たり中間純利益	48.92 円	114.06 円	65.14 円	

(10) 完成工事高の増減【連結】

◆ 前年同期から233億円の増加

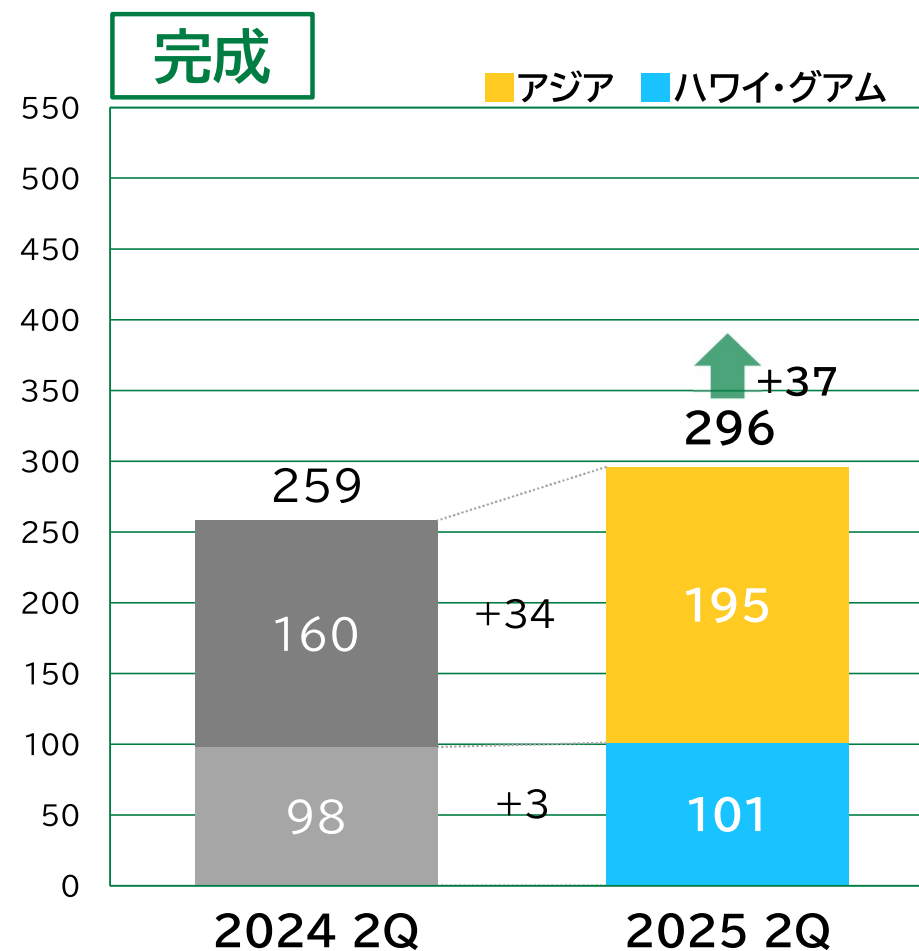
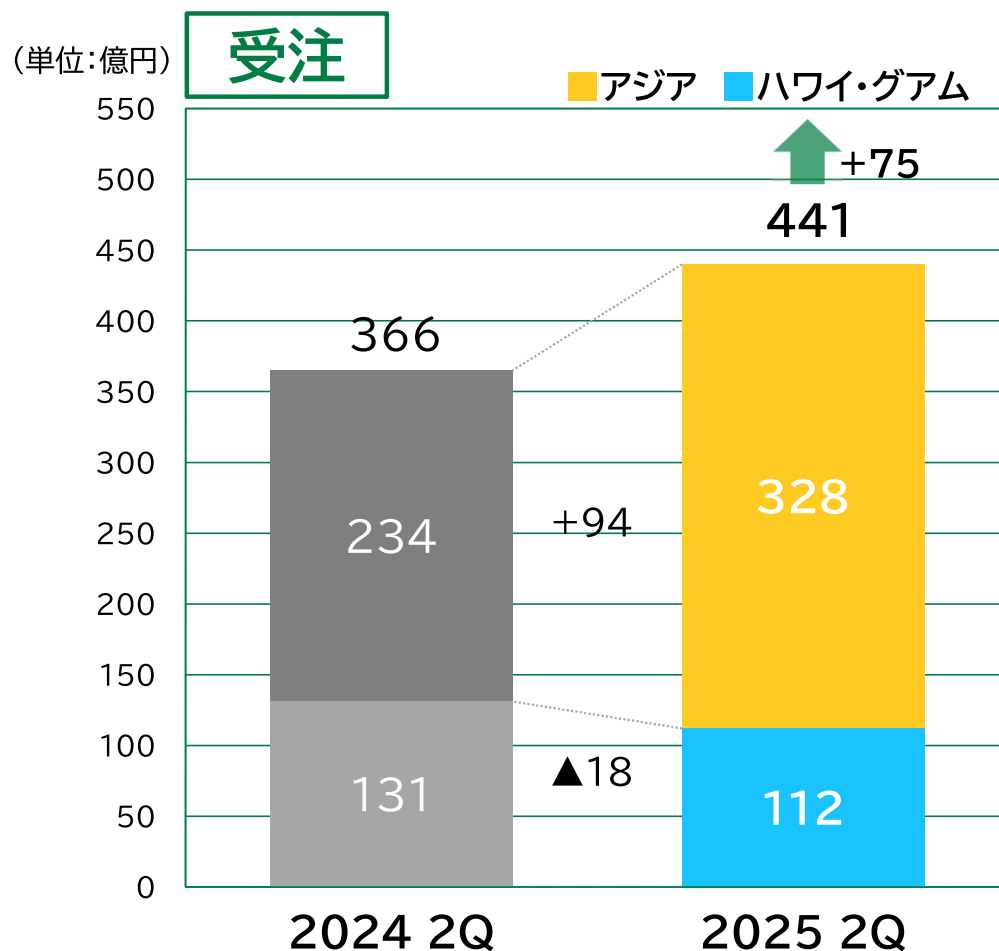
- ・きんでん個別が、115億円増加
- ・国内子会社は、86億円増加（北弘電社 他）
- ・海外子会社は、31億円増加（ドバイ子会社、ベトナム子会社 他）

(単位:億円)



(11) 海外(地域別) 受注・完成工事高の状況【きんでん+海外子会社】

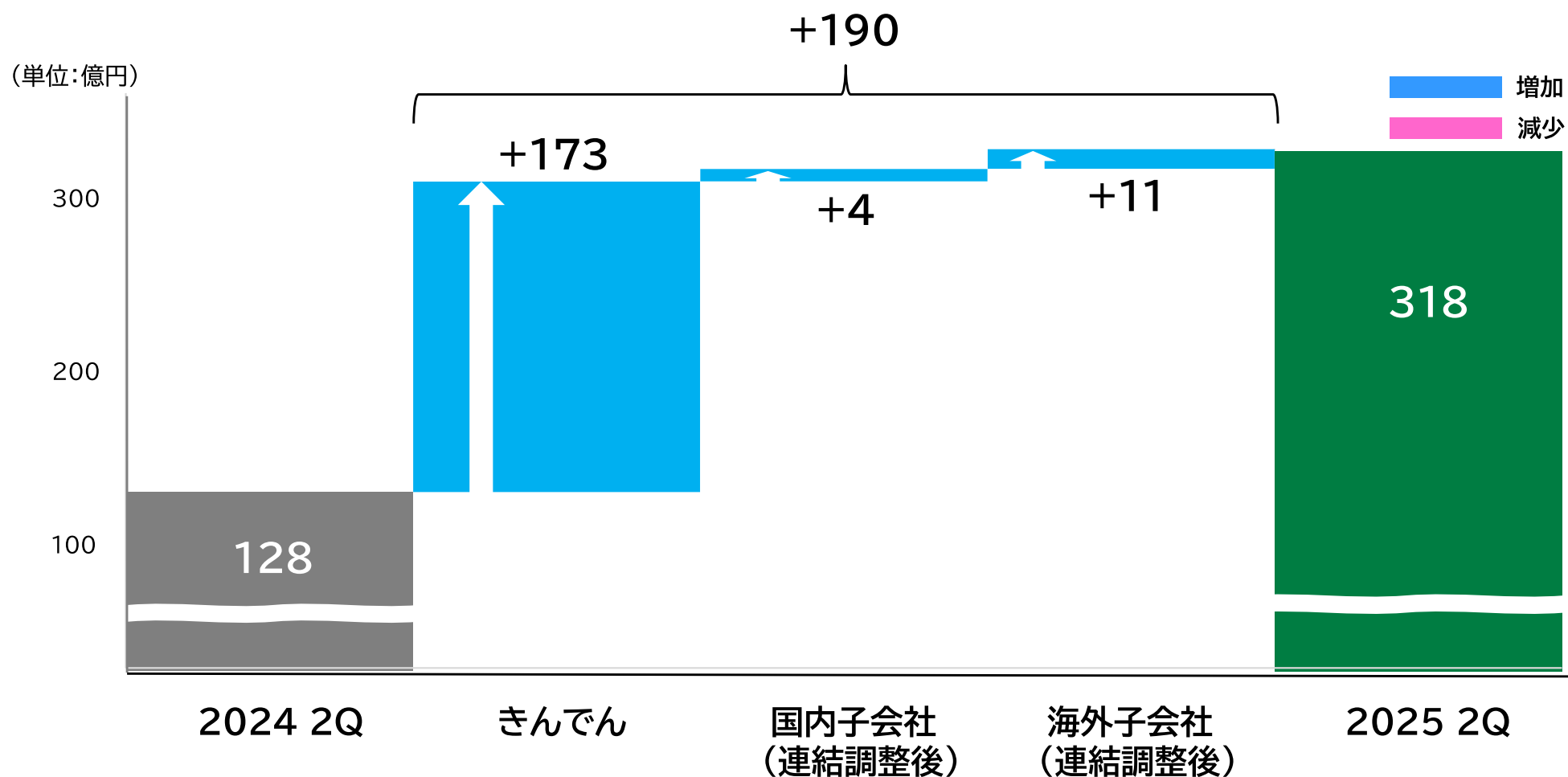
- ◆ 受注
アジアが大きく増加(特にベトナム、ドバイ)
- ◆ 完成
アジアが増加(特にベトナム、ドバイ)



(12) 営業利益の増減要因【連結】

◆ 対前年同期190億円の増加

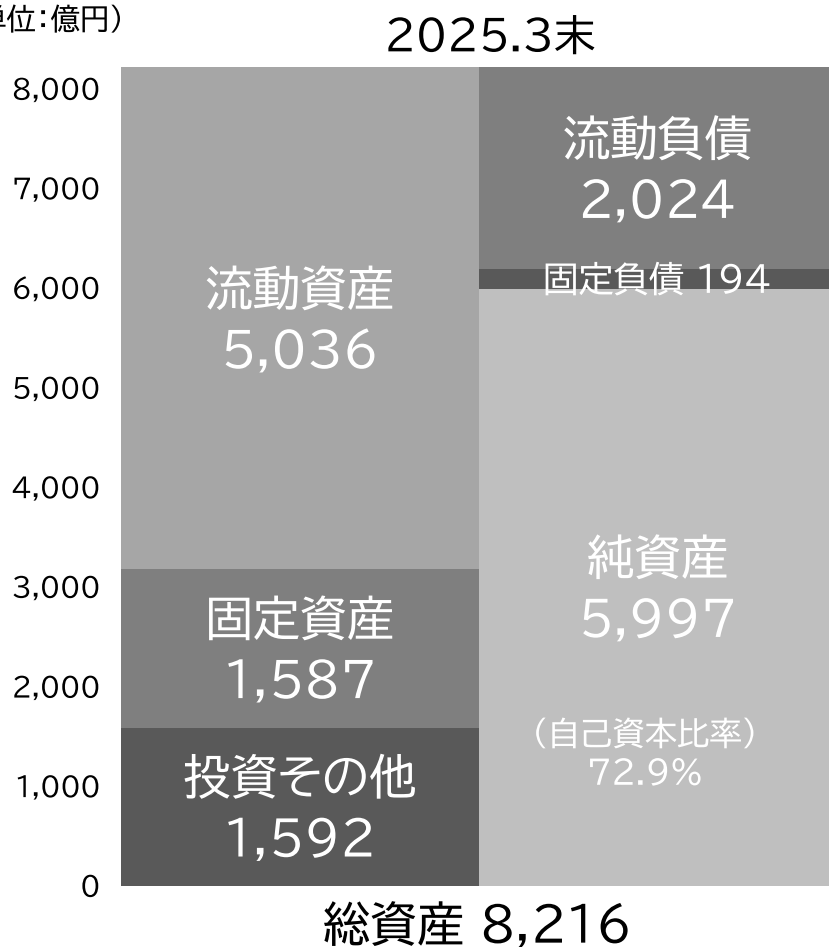
- ・きんでん個別は、完成工事高の増加や工事利益率の上昇により173億円の増加
- ・国内・海外子会社共に堅調に推移



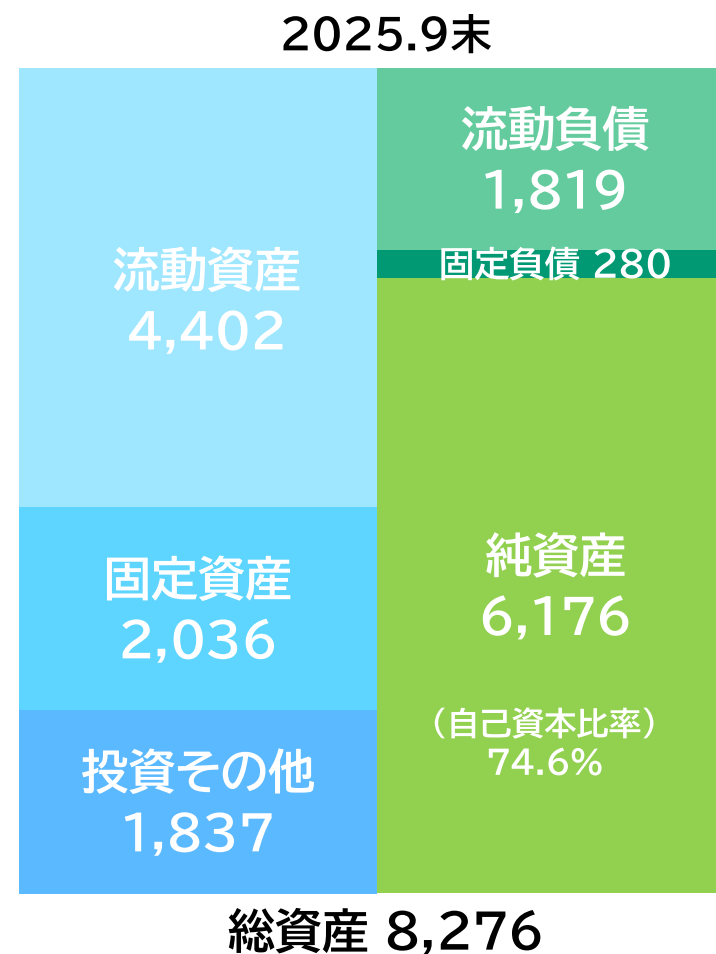
(13) 貸借対照表の状況【連結】

◆ 前期末と比較し、総資産は59億円増加、純資産は179億円増加し、自己資本比率は74.6%となった

(単位:億円)



総資産
+59
純資産
+179



(14) キャッシュ・フローの状況【連結】

- ◆ 営業活動は、利益の計上、売上債権の減少等により437億円の資金が増加
- ◆ 投資活動は、固定資産の取得、子会社株式の取得などにより385億円の資金が減少
- ◆ 財務活動は、自己株式の取得、配当金の支払いなどにより233億円の資金が減少
- ◆ その結果、現金及び現金同等物は194億円減少し、残高は1,652億円となった

(単位:億円)

	2024_2Q	2025_2Q		
	実績	実績	主な内容	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	264	437	税引前利益の計上 +340 売上債権の減少 +524 仕入債務の減少 △268 法人税等の支払 △173	172
投資活動によるキャッシュ・フロー	31	△ 385	固定資産の取得 △305 子会社株式の取得 △115	△416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 131	△ 233	自己株式の取得 △54 配当金の支払 △99	△101
現金及び現金同等物の増減額	176	△ 194		△370
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,981	1,652		△329

3. 業績予想

(1) 通期予想【個別】

- ◆ 中間期の業績が期首発表数値を上回った
- ◆ 下期についても手持工事の堅調な利益水準、良好な受注環境等を踏まえ、売上高及び各利益の予想を上方修正

(単位:百万円)

	通期予想(期首発表)	通期予想(今回修正)	増減額	増減率
完 成 工 事 高	610,000	615,000	5,000	0.8%
営 業 利 益	60,000	73,000	13,000	21.7%
営業利益率	9.8%	11.9%	2.1	—
経 常 利 益	64,000	78,000	14,000	21.9%
当 期 純 利 益	50,000	62,000	12,000	24.0%
1株当たり当期純利益	253.16 円	313.03 円	59.87 円	

(2) 通期予想【連結】

- ◆ 中間期の業績が期首発表数値を上回った
- ◆ 下期についても、子会社も堅調な推移を見込んでおり、売上高及び各利益の予想を上方修正

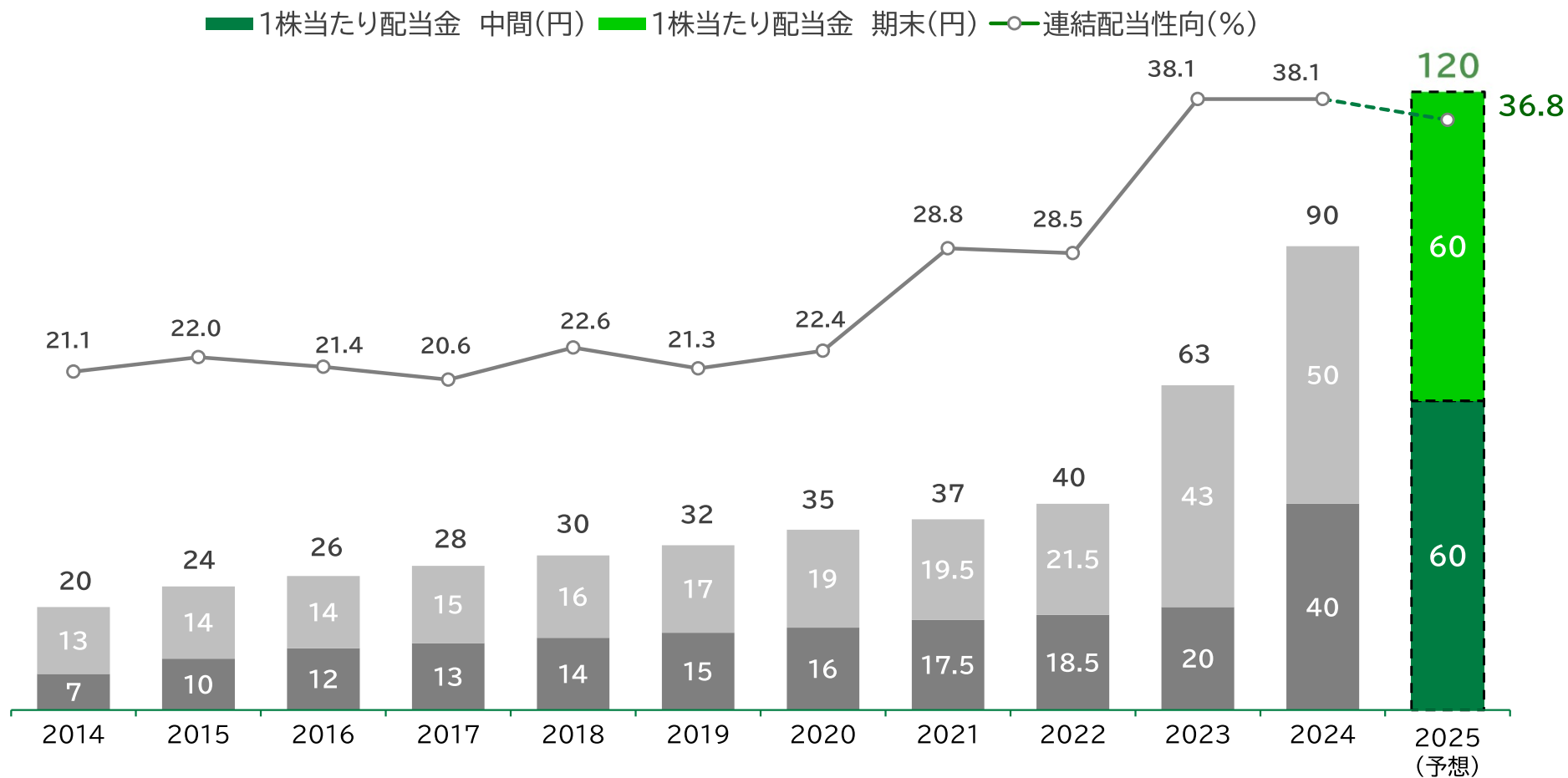
(単位:百万円)

	通期予想(期首発表)	通期予想(今回修正)	増減額	増減率
完 成 工 事 高	730,000	742,000	12,000	1.6%
営 業 利 益	67,000	81,000	14,000	20.9%
営業利益率	9.2%	10.9%	1.7	—
経 常 利 益	70,000	86,500	16,500	23.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	52,000	64,500	12,500	24.0%
1株当たり当期純利益	263.28 円	325.65 円	62.37 円	

4. 株主還元

(1) 配当について

配当の推移



(2) 自己株式の取得について

450万株または、取得総額100億円を上限として実施中

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.26%)

1. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	4,500,000株(上限)
(3) 株式の取得価格の総額	10,000,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2025年2月3日～2025年12月23日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

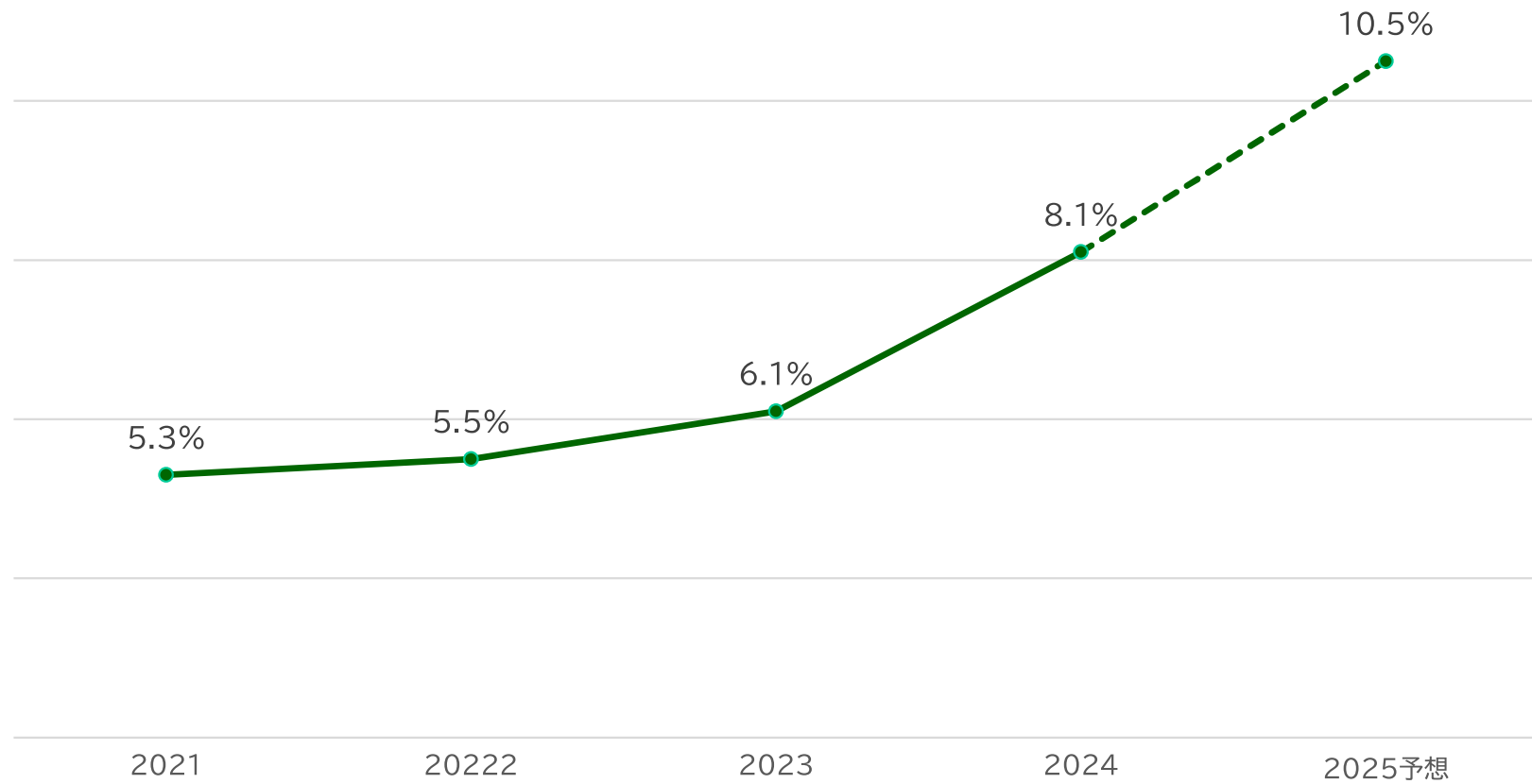
2. 自己株式の取得状況

(1) 取得期間	2025年2月3日～2025年10月31日(約定ベース)
(2) 取得した株式の総数	2,039,900株
(3) 株式の取得価格の総額	8,253,494,718円

5. ROE

ROEについて

ROEの推移





本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

◆ IRに関するお問い合わせ

株式会社きんでん IR・広報部 IRチーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話:06-6375-6026